

授業科目名	レクリエーション活動	担当教員名	新山 悦子
必修/選択	必修	開講学年・学期	1年 後期 (年間開講数 2講座)
科目区分	その他の科目	単位数	1単位 (30時間)
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	演習 / 単独
		特記事項	
授業の到達目標	①レクリエーションの意味と必要性を認識する。 ②いろいろなレクリエーションを体験しマスターする。 ③ナワとびの技術をマスターする。 ④コミュニケーション力を身に付ける。 (1)利用者及び社会福祉事業従事者の保健の意義について理解する。 (2)レクリエーション活動の社会的意義を理解する。 (3)体育及びレクリエーション活動の基本的原則について理解する。 (4)体育指導及びレクリエーション活動援助を実技を通じて計画作成能力・実技能力を習得向上させる。		
授業の概要	レクリエーションの意味と必要性を認識し、技術・指導のポイントを認識する。コーディネーション能力の向上・身体を動かす楽しさを味わう。不安要素を軽減、運動不足の解消、仲間づくり、体づくりに努める。ナワとびの技術をマスターする。		
テキスト	使用しない		
参考書・参考資料等	「楽しいアイスブレーキングゲーム集」三浦一朗著(日本レクリエーション協会)、「楽しみながら運動能力が身につく!幼児のためのコーディネーション運動」東根明久著(ナツメ社)		
成績評価の方法	平常点(参加意欲、授業態度)…40% 実技発表・試験…60%		
授業計画	授業の内容		到達目標番号
第1回	・レクリエーションの必要性、重要性を伝達する ・ミニレクリエーション実施		①
第2回	身近にあるものを使ってレクリエーションを行う① ・イス ・新聞紙		②,④
第3回	身近にあるものを使ってレクリエーションを行う② ・タオル ・はし、紙コップなど		②,④
第4回	身近にあるものを使ってレクリエーションを行う③ ・ボール		②,④
第5回	身近にあるものを使ってレクリエーションを行う④ ・フープ		②,④
第6回	身近にあるものを使ってレクリエーションを行う① ・ナワとび練習と技術の習得		②,③,④
第7回	※ナワとびテスト		②,③
第8回	昔遊びの紹介と実施 ・ゴムとび ・お手玉 ・けん玉 ・あやとりなど (あやとり小テスト)		②,④
定期試験	定期試験は実施しない		